

### 家庭教育学級合同開級式・講演会

H29. 5. 23(火)

#### 「すべては子どもたちの幸せのために」

上田情報ビジネス専門学校副校長

講師 比田井 和孝 氏



過日は家庭教育学級合同開級式・講演会にたくさんの皆様の参加をいただきありがとうございました。平日の午後開催のため参加者の84%が女性でしたが男性の参加者も昨年より5名増加しました。栃木県や東京、成田、富里など市外から参加された方も19名いらっしゃいました。今年度の講師は、長野県の上田情報ビジネス専門学校副校長の比田井和孝先生。「学生たちの幸せのため」を考え「あいさつ・掃除・素直」を教える「就職対策授業」を始めると学生が変わってきたとのこと。それは人としての



「あり方」を変えていくから。子育ても同じ。やり方よりもあり方、子供は天からの授かりものと言うけれど本当は「預かりもの」。預かったものは返さなければならない。誰に返すか？社会に返す。周りの人を喜ばせることに喜びを感じられる人は幸せ。自分のことしか考えられない人は不幸。うまくいかないのが子育て。取り返しのつく失敗をたくさんさせてやるのが大事。できた時以上にできなかったときに抱きしめてほしい。未来を希望で埋められる子(人)は挑戦する。家の中でわがままを言えない子は心配など「子どもたちの幸せのために」熱く語っていただきました。この講演会は役員だけでなくどなたでも参加できます。次年度も多くの皆様にご参加いただき、子育ての参考にさせていただければ幸いです。

感想から

- ◇ 沢山のヒントをいただきました。まずは自分から。楽しい家庭づくりを進めます。
- ◇ これからの子育てが少し楽になったような気がします。子供の長所を見守りたいです。
- ◇ 子育てだけでなく、自分自身の人生にとって大切な話を聞けたように思います。
- ◇ 親として自分の子育ての前に、心持ち・あり方の大切さを再確認できました。
- ◇ 子育てにあたり元気をいただきました。子育ては自分育てですね。
- ◇ 丸ごと愛することの大切さがよく分かりました。感動しました。
- ◇ 「根拠のない自信」大切ですね。今日から子供を抱きしめます。





# 「親力アップ!いきいき子育て広場」より

千葉県教育委員会では子育てに役立つ資料として『親力アップ!いきいき子育て広場』というサイトを設けています。今回はその中の「子育て豆知識」から乳幼児編・小学生編・中学生編をそれぞれ一つずつ紹介します。このほかにもたくさんのいろいろな情報がありますので、ぜひのぞいてみてください。

## 【乳幼児編】外遊びは大切

乳幼児期は走る、跳ぶ、投げるという基本的な動きを学習する大切な時期です。子どもの体力が低下している今、遊びを通し体を動かすこと、この中で得られる体力は人間の活動の源です。お友達と遊ぶことで楽しさを知ったり、体を動かすことの気持ちよさを教えるチャンスにもつながります。是非、外遊びの重要性を再度認識し、たくさん外遊びをさせましょう。



## 【小学生編】食を通して心と体を育てよう

子どもは親が思っているよりお料理が大好きです。子どもと一緒にできるメニューを探しましょう。塾や習い事で家族そろって食べるのが少なくなってきたら、せめて朝ごはんだけでも一緒に食べましょう。食はコミュニケーションも深まります。大人になって体に良いものを選択できるよう、小さいときからの食習慣も大事です。

食べ物を大事にしたり、栄養のバランスを考えたりする機会を意識してつくりましょう。

## 【中学生編】部活動の中で

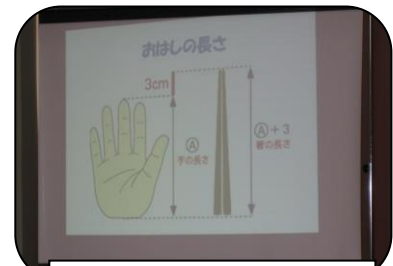
「レギュラーになれない」「なかなか試合に出してもらえない」「まじめに一生懸命練習しているのに、いい加減でもうまい子ばかりが試合に出ている」「バカバカしくなった。もうスポーツなんかやめた」等々。子どもがぶつかる部活動の悩みの1つです。勝利を目指す部活動において、技術の向上は大事ですが、それ以上に仲間同士が共通の目標を目指して励まし合い、信頼し合い、高め合える関係づくりこそが、部活動の目指すものです。

## スプーン・お箸の正しい使い方は?



5月17日、おおひらこども園での家庭教育学級は健康支援課の齋藤栄養士を講師に「食具」の正しい使い方を学びました。毎日使っているお箸ですが、はたして正しく持っているのでしょうか。まずはスプーンの正しい持ち方。親指と人差し指と中指の3本の指で柄を支えるように持つのが正しい持ち方。まだ小さい子は力が弱いため握りしめて持っている子もいますが、徐々に正しい持ち方ができるようにしたいものです。スプーンを正しく使えるとお箸も正しく使えるようになるようです。

また、お箸の持ち方と鉛筆の持ち方は同じです。正しい鉛筆の持ち方で書くと、「きれいに速く疲れずに」文字や数字を書くことができます。つまり学習に集中できるわけです。正しいお箸の持ち方をしっかり身につけさせてあげたいものです。



お箸の長さは手の長さ + 3 cm がちょうどよい



丸めたティッシュを薬指と小指で抑え残りの3本の指で上の1本を持ちもう1本は薬指の上に乗せる。